

おもろいモノづくりはまだつづきます

お父ちゃん、亡くなったのにがんばってますなあ。舞ちゃん。昨年の一二月号でも触れたんですけど、NHKの朝の連続テレビ小説『舞あがれ!』を、また紹介したくなったんで今月も書きます。観てない人は勘弁してください。

そして今からでも観てください。なんせ東大阪の中小企業のドラマですから。おまけにウチ、(株)アオキも取材を受けてます。

その折、脚本家の方とも、行きつけのお好み焼き屋さんに行って食事しました。

僕のところに来る人は、ようご一緒する店ですけど、みなさん、お好み焼きの量の多いのにびっくりします。なんせ、近くの工場の若いもんが食べに来るところですからなあ。

ドラマでも、工場があつて、飛行機が重要な役割で出てきて、お好み焼き屋も登場する……。そこから、舞ちゃん一家は知り合いの家のような感じでテレビ観ています。

観てない方のために、簡単にストーリーを説明しましょう。主人公の岩倉舞ちゃんは、幼い頃から飛行機が好きで、大人

になったら空を飛びたいと思ってました。舞ちゃんのお父ちゃんも、いつか自分の工場でつくった部品を飛行機に乗せるのが夢でした。

そんな環境で育った少女は、浪速大学の航空工学科に入学して、サークルは人力飛行機部と、まさに飛行機づくしの青春です。そして、ケガした先輩学生のピンチヒッターですが、人力飛行機のパイロットになり、ちよつとやけど空を飛んだのです。

舞ちゃんは、その感激が忘れられず、大学を中退して、パイロット養成のための航空大学校に入学。夢を実現するために一歩踏み出します。

ゆくゆくは飛行機へ ウチの部品を乗せたい

お父ちゃんも負けてません。

「夢が始まり、情熱を結集し、心豊かな社会をつくる」という新聞の見出しで、東大阪で人工衛星を打ち上げる計画を知って、人工衛星の勉強会に参加しました。

そして、その計画にかかわっている工場を見学して「大学の先生と研究している。従業員のエネルギーもすごい」と感じました。

さらに、岩倉螺子製作所(株) I W A K U R A に社名変更します。

この折、お父ちゃんは社長として「ゆくゆくは飛行機へウチ



◎(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年国立和歌山大学客員教授に就任。2016年大阪市立大学学長特別顧問に就任(現在は、大阪公立大学客員教授)。2020年国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事。

の部品を乗せたい」と訓示してます。新工場が稼働するときのナレーションは、こう言うてます「いつか飛行機の部品をつくるという夢に向けて、I W A K U R A の挑戦が始まったのです……」。

いやあ。気が合いますなあ(笑い)。

(株)アオキも青木鉄工(株)から名前を変えて、ジェット旅客機B777の試作機の量産機部品を受注して、生産を始めました。

そして二〇二〇年にはJIS Q 9100も認定取得してます。このJIS Q 9100というのは航空、宇宙、防衛のジャンルを対象とした品質のマネジメントシステムを要求する厳しい規格です。

なんせ、日本では七七〇社しか取れてないという難しいものです。

僕の講演では、よくボーイング社や宇宙航空研究開発機構(JAXA)の話を出しますが、JIS Q 9100があるからこそ、こんな大きな機構や会社と仕事できるんです。

帰ってくるところが 東大阪の工場やったら

さて、「舞あがれ!」では、お父ちゃんは工場で、娘はパイロットで、二人の空への夢がかなうと思うていたんですが、そやなかったんですなあ。人生わからないもんです。

リーマンショックですわ。二〇〇八年のことでした。取引先への部品の納入が、わやぐつまりダメになって、お父ちゃんは

それを埋めようと走り回るので、過労で、ついに亡くなってしまいました。確かに心筋梗塞でした。



●大阪のソウルフードはやっぱり「お好み焼き」

中小企業で問題なのは過労死と事業継承です。もっとも過労死は、中小ばかりの問題やありません。それで最近、残業規制なんかで、健康管理をきちんとせなあかんように定められるようになりました。経営者としては痛し痒しという面もありますが、ともかく対策がでてます。

もう一つの事業継承の問題は、さらに大変です。例えば、黒字でも後継者がなく会社閉めないかんようなこともあります。

辛い言うたらあかんのやろうけど、I W A K U R A は舞ちゃんのお母さんが継いで、順調のようです。そやけど舞ちゃんは、内定してたパイロットを断って、会社に専念する……。そうそう航空学校の同期で、国際線パイロットになったかつての恋人は、どうしてるのでっしゃろ。なにも、別れなくてもよかったのやないかと思えますが。お互い飛んでたら、すれ違いやないですか。彼が空飛んで。帰ってくるところが東大阪の工場やたら、それでええやんと思えますが……。

ともかくドラマはまだつづいてます。みなさん最後までよろしゅうお願いします。